

「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公費助成制度の創設を求め  
る」に関する請願書

2022年 4 月 2 日

紹介議員

森山喜久 印

伊場勇 印



山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公費助成制度の創設を求める」請願

貴職が山陽小野田市政の発展、市民の安全と生活向上のため日夜奮闘されている事に敬意を表します。

さて、高齢化社会が進む中、加齢に伴い耳が聞こえづらくなり、仕事や社会生活に困る難聴の高齢者が増えています。加齢による難聴を自然現象として済ませるのではなく、適切なケアが必要です。

加齢による難聴は、認知症やうつの原因になる事も明らかになっています。しかし、補聴器は高額であり、低年金の高齢者には購入が困難であるため公費助成制度の創設が求められます。私たち年金者組合は、補聴器購入に対する公費助成制度の創設を求める署名活動を進め、高松市議会議長と藤田市長に届け、制度の実現を目指しています。

補聴器購入に公的助成を求める声は広がり、2021年9月末現在、183の地方で公的助成を求める意見書が採択され、助成が実施される自治体も次々生まれています。難聴が緩和されれば、高齢者が安心して社会生活に参加し、働く事ができ、認知症予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制にもつながるのではないのでしょうか。

私たちは一日も早く、実現することを願っています。高齢者の切実な願いに貴職が応えてくださるよう請願します。 以上

2022年5月 吉日

年金者組合 山陽小野田支部

支部長 石井 勇

山陽小野田市大休団地5-1

電話